

校長室から (NO. 41)

まっつんサークルの活動



今年度は、コロナ禍にあって、曳山巡興は取り止めになってしまいました。特に、10月1日は、例年なら多くの子供が、曳山に関わっていたはずです。

あれからすでに1か月が経ちましたが、本校では、今も定期的にまつり囃子が聞こえてきます。その音色を聞く度に思い出すことがあります。

10月1日は学校があり、寂しい思いをしていた私たち。そんなとき、新しいメンバーを迎えたまっつんサークルが、練習を行っていました。どうしたことでしょう。お囃子が恋しいのか、太鼓の音に次々にギャラリーが集まってきました。

その太鼓の音の主は、なんと、3年生男児。もちろんニューフェイスでした。そして、絶妙な間合いで、上手な曳山囃子を力強く演奏していることに驚きました。小さい頃から聞いてきたあのお囃子です。教わってできるものではないな、ふるさとに生きる子供たちなんだなあーとつくづく思いました。

これからも、まっつんサークルの活動を長く引き継いでいってほしいです。

